



令和4年7月29日
国土交通省東北地方整備局
山形河川国道事務所
新庄河川事務所
山形県県土整備部 河川課

最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの進捗状況 ～令和2年7月豪雨から2年～

- 令和2年7月豪雨から2年が経過するにあたり、災害発生から現在までの災害復旧と河川整備の実施概要について発表します。
- 浸水被害の軽減等を目指して緊急治水対策プロジェクトに取り組んでおり、主要対策の河道掘削は、全体計画約90万m³（概ね7年間）に対して、本年度までに約45万m³（約5割）の掘削を完了させる予定です。
- 今後とも地域と連携しながらプロジェクトを推進し、安全で安心できる地域づくりを目指します。

■最上川本川の主要事業（国）

- 河道掘削工事は、全体約90万m³のうち今年度内に約45万m³（約5割）を完了予定。
- 白須賀地区（大蔵村）の堤防整備が令和3年度完成。また長島地区（村山市）の堤防整備を今年度（令和5年3月）完成に向け鋭意整備中。

■最上川支川の主要事業（県）

- 銅山川ほか71河川244箇所での施設の復旧を実施しているところであり、これまでに234箇所（約9割）の復旧が完了。残る10箇所についても復旧中。
- 白水川の堤防を整備中。R4年度に堤防復旧・嵩上げが完成予定。
- 大旦川の堤防・調節池を整備中。R4年度までに調節池が一部完成予定。
- 新たに河川整備を行う和田川、小鶴沢川、月布川、古佐川、五十沢川の5河川について、R3年度に河川整備計画に位置づけ、R4年度事業着手。現在、調査設計等を実施中。

■その他

- 令和2年7月豪雨から2年に関する行事を実施中（予定含む）
 - ・特設WEBサイト開設
 - ・巡回パネル展（8月19日（金）まで）
 - ・水シンポジウム2022 in やまがた（山形テルサ）
 - ・夏休み限定で最上川河川学習室を開催（8月31日（水）まで）
（大旦川水門局舎2階・河川防災センター内：村山市河島）
 - ・河北町まるごとまちごとハザードマップ
（令和2年7月豪雨による洪水痕跡表示看板等の設置）[河北町溝延]
- ・最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況現地説明会
- ・流域治水に関するトップセミナー（最上川流域治水協議会）

《発表記者会》山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部、酒田記者クラブ、
鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙

問い合わせ先

○国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
TEL 023-688-8421 (代)

副所長(河川) こいで ひろし 小出 博

○国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
TEL 0233-22-0251 (代)

副所長(河川) やまかげ しゅうじ 山影 修司

○山形県 県土整備部 河川課
TEL 023-630-2620 (直通)

河川課長 すずき けんいち 鈴木 賢一

【概要】 最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト

○令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、最上川中流・上流において、国・県・沿川市町村等が連携し、「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を策定（令和3年1月）し、ハード・ソフト両面で治水対策を推進している。

最上川本川の主要事業（国）

- 河道掘削工事は、全体計画90万m³に対して、今年度までに約45万m³（約5割）の掘削を完了予定。
- 白須賀地区（大蔵村）の堤防整備が令和3年度完成。また、長島地区（村山市）の堤防整備を、今年度（令和5年3月）完成に向け鋭意整備中。
- 新たに対策を行う、横山・大石田地区（大石田町）、百目木地区（大江町）において、治水対策を検討中。押切・溝延地区（河北町）においては、堤防整備の方向性を決定し、早期の工事着手に向け詳細設計を実施。
- 令和2年7月豪雨洪水被害の記憶を風化させない取り組みとして、「巡回パネル展」や「まるごと・まちごとハザードマップ」等のソフト対策を実施中。

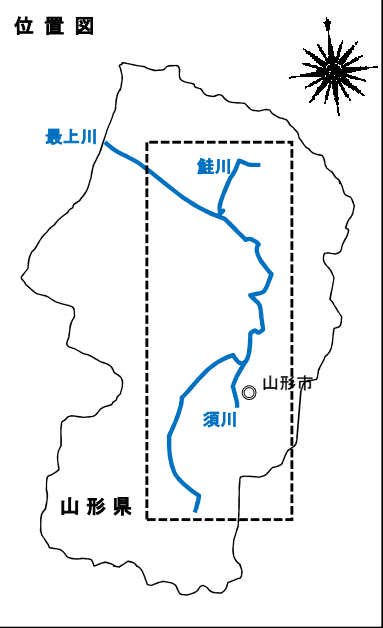
最上川支川の主要事業（県）

- 銅山川ほか71河川244箇所では施設の復旧を実施しているところであり、これまでに234箇所（約9割）の復旧が完了。残る10箇所についても復旧中。
- 白水川の堤防を整備中。R4年度に堤防復旧・嵩上げが完成予定。
- 大旦川の堤防・調節池を整備中。R4年度までに調節池が一部完成予定。
- 新たに河川整備を行う和田川、小鶴沢川、月布川、古佐川、五十沢川の5河川について、R3年度に河川整備計画に位置づけ、R4年度事業着手。現在、調査設計等を実施中。

R3.1.29 策定

最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクト ～地形特性を踏まえた河川整備と農業や雪対策と連携した治水対策の推進～

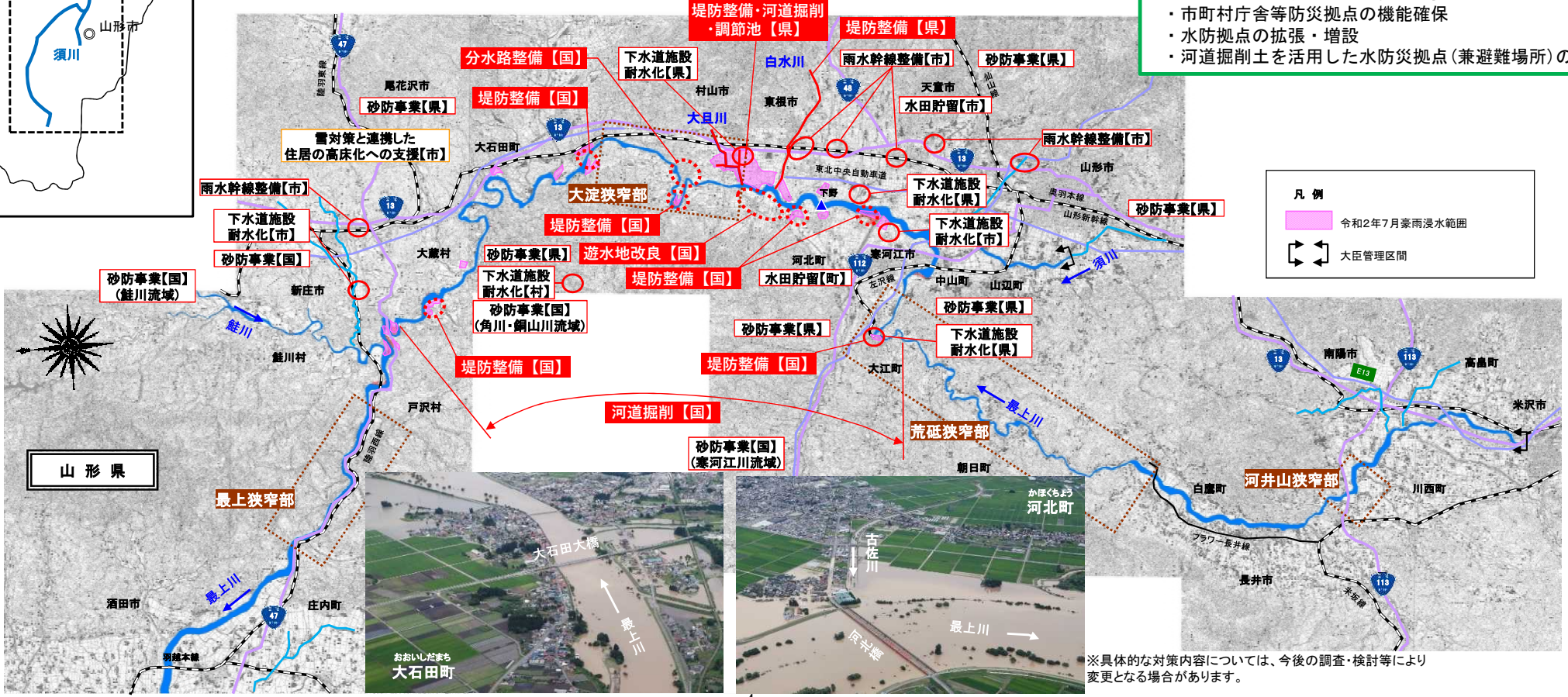
○令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生した最上川水系では、河川整備に併せ、地域の主産業（農業等）や豪雪地域などの地域特性を踏まえた農地・農業水利施設の活用や雪対策と連携した高床化などによる対策を組み合わせた流域治水を推進することで、令和2年7月豪雨＜中上流部で戦後最大＞及び昭和44年洪水（低気圧）＜下流部で戦後最大＞と同規模の洪水に対して、国管理区間での氾濫を防止するとともに流域での浸水被害の軽減を図ります。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 河川区域での対策
 - ・河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良 等
 - 集水域での対策
 - ・砂防堰堤等の整備
 - ・雨水幹線の整備、貯留管
 - ・利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、山形県、東北電力(株)、土地改良区など）
 - ・森林整備・治山対策・水田貯留（田んぼダム）
 - ・農業用排水機場等の整備
 - ・下水道施設（処理場等）の耐水化

- 被害対象を減少させるための対策**
- 氾濫域での対策
 - ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導
 - ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）
 - ・家屋移転、かさ上げ補助制度の創設
 - ・雪対策と連携した氾濫被害の軽減（高床住宅等）

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 氾濫域での対策
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・危機管理型水位計の設置
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 - ・R2.7出水の課題を受けたタイムラインの改善
 - ・流域自治体との洪水対応演習
 - ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
 - ・メディアと連携による洪水情報の提供
 - ・まるごとまちごとハザードマップの促進
 - ・広域連携による避難態勢の強化
 - ・民間企業と連携した避難体制の強化
 - ・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
 - ・水防拠点の拡張・増設
 - ・河道掘削土を活用した水防災拠点（兼避難場所）の整備



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

「最上川緊急治水対策プロジェクト」

○令和2年7月豪雨により、甚大な被害が発生したことを踏まえ、最上川中流～上流において、国、県、市町村が連携し、被災した箇所において、集中的に再度災害防止対策を実施します。事業の実施にあたっては、地域の皆様と調整しながら進めてまいります。



■事業費 約568億円 (国管理区間)

■事業種別

○災害復旧

最上川中流
全体事業費 約51億円
事業期間 令和2年度～令和3年度

最上川上流
全体事業費 約11億円
事業期間 令和2年度～令和3年度

○大規模災害

最上川中流
全体事業費 約146億円
事業期間 令和2年度～令和11年度

最上川上流
全体事業費 約354億円
事業期間 令和2年度～令和11年度

○推進費

全体事業費 約6億円
事業期間 令和2年度～令和3年度

■全体事業費
約656億円

■事業費 約88億円 (県管理区間)

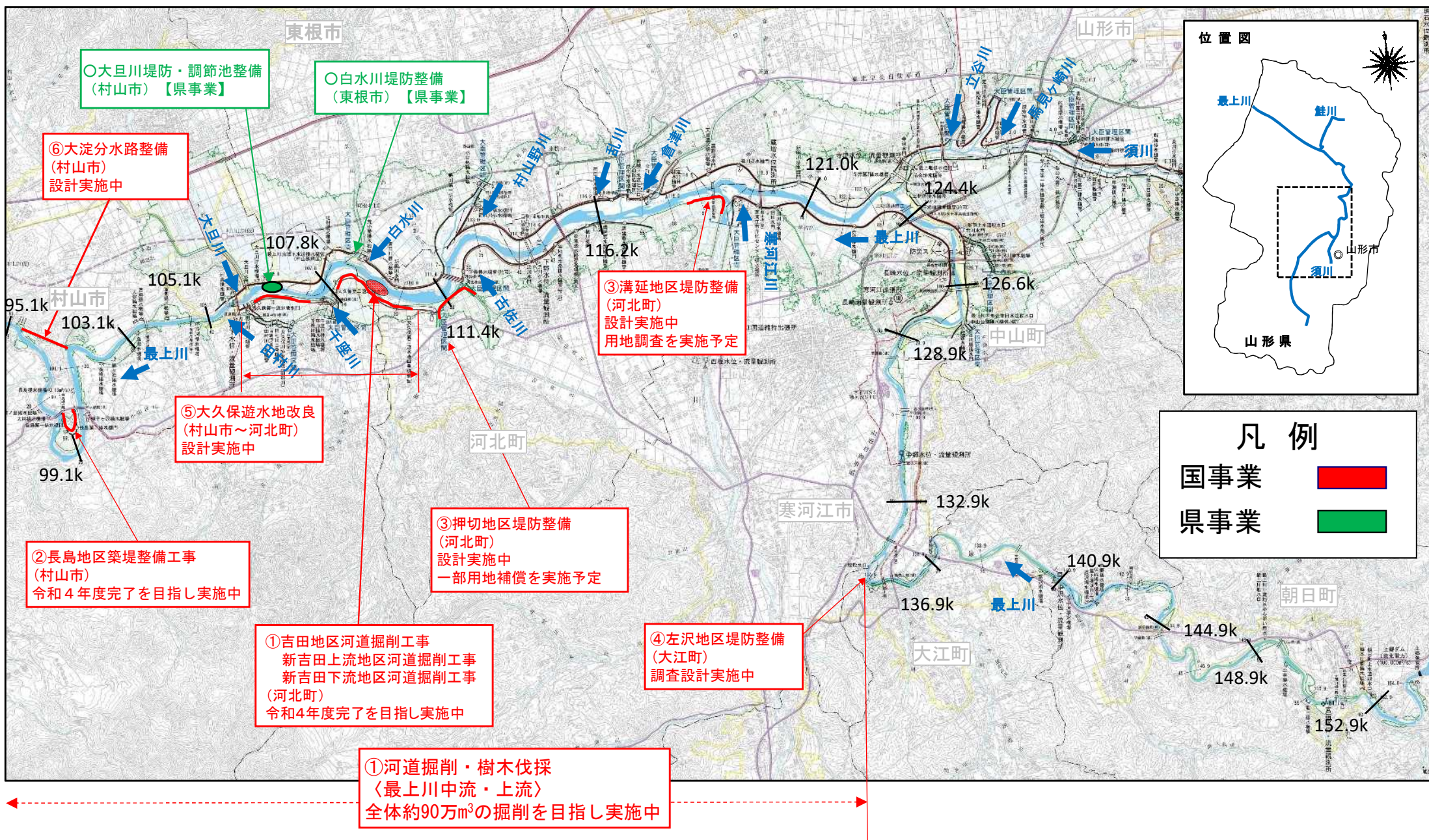
■事業種別

○災害復旧 全体事業費 約62億円 (県内242箇所)
事業期間 令和2年度～令和4年度

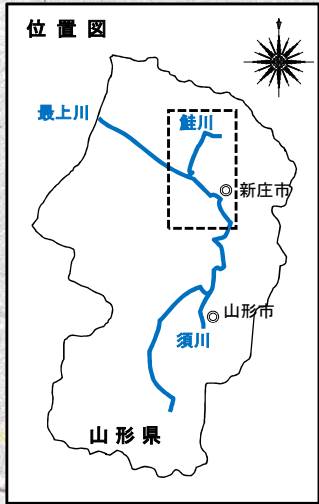
○改良復旧 全体事業費 約26億円 (白水川、大旦川)
事業期間 令和2年度～令和4年度



緊急治水対策プロジェクト 主要事業箇所



緊急治水対策プロジェクト 主要事業箇所



6.0k
4.0k
2.0k
0.0k
4.0k
2.0k
0.0k
20.0k
15.0k
10.0k
5.0k
0.0k
45.0k
40.0k

金山川
真室川
真室川町
鮭川
泉田川
鮭川
戸沢村

新庄市
尾花沢市
大石田町
舟形町
大蔵村

①毒沢地区河道掘削工事
(尾花沢市)

①白須賀地区河道掘削工事
(大蔵村)

①鳥川地区河道掘削工事
(大蔵村)

⑦白須賀地区堤防整備
(大蔵村)
令和3年度完了

①清水地区河道掘削工事
(大蔵村)

①鶴の子地区河道掘削工事
(新庄市)

①蔵岡地区河道掘削工事
(戸沢村)

⑧横山・大石田地区堤防整備
(大石田町)
調査設計実施中

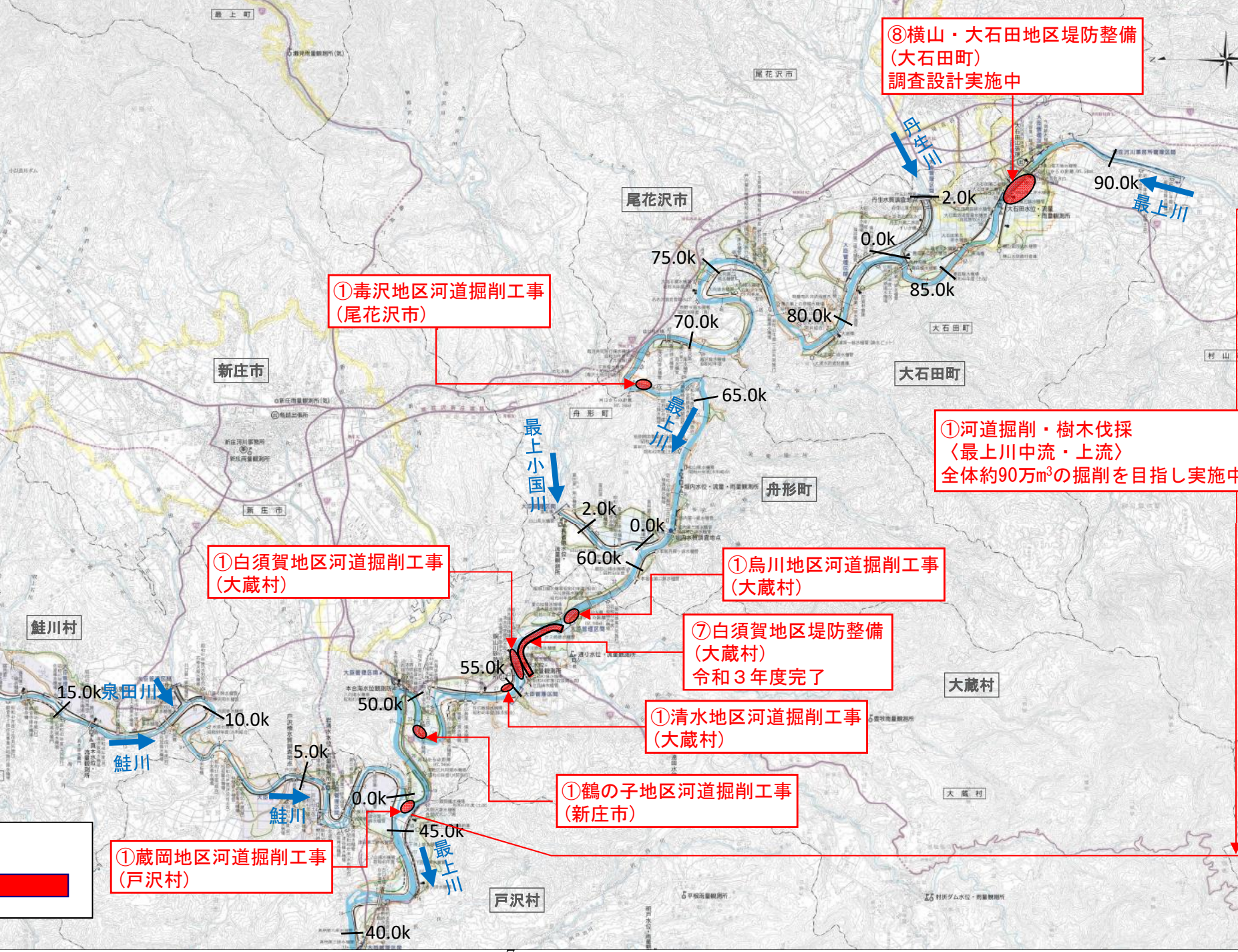
①河道掘削・樹木伐採
〈最上川中流・上流〉
全体約90万m³の掘削を目指し実施中

最上川
最上小国川
舟形川
最上川

75.0k
70.0k
80.0k
65.0k
2.0k
0.0k
60.0k
55.0k
2.0k
0.0k

尾花沢市
大石田町
舟形町
大蔵村

凡例
国事業



① 河道掘削

○最上川本川で「河道掘削」に着手し、現在推進中。全体計画約90万m³のうち、本年度までに約45万m³（約5割）の掘削を目指し施工中。令和8年度完成予定。

工事状況



令和3年度完了箇所



最上川上流吉田地区河道掘削工事

最上川上流新吉田下流地区河道掘削工事

最上川上流大久保下流地区掘削工事

令和3年度完了箇所



最上川上流谷地上流地区河道掘削工事

令和4年度までに掘削完了予定の土砂の量の合計

掘削土45万m³ = 小学校のプール × 約938杯分

※25m × 16m × 1.2mで計算

② 長島築堤

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」に着手し、現在推進中。
 全延長約1,360mのうち、令和3年度に約430m（約30%）が完成し、本年度は残りの約930m（約70%）の完成を目指し、施工中。令和4年度完成予定。

施工前



R3年完成箇所



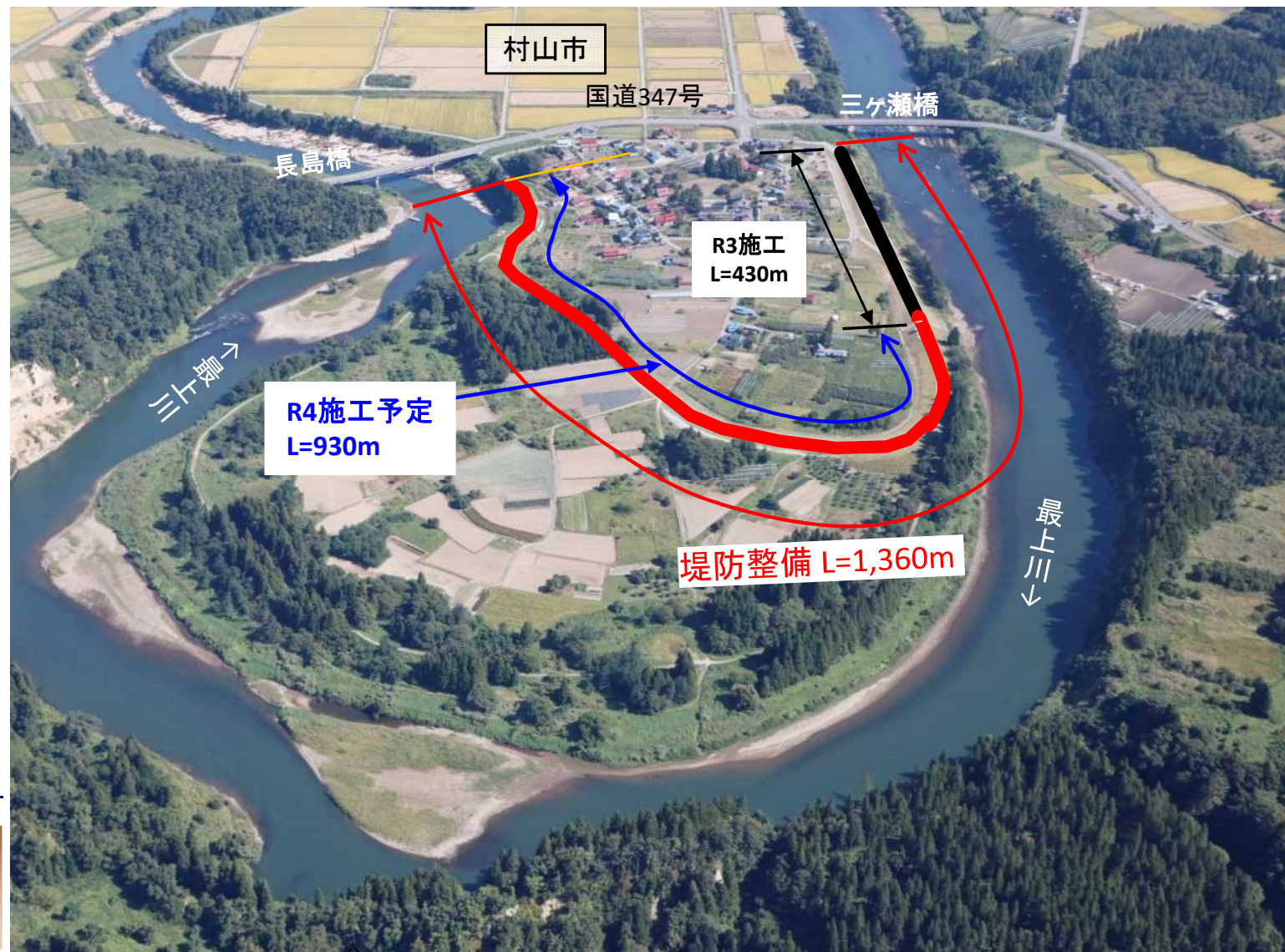
堤防整備イメージ

堤防整備

▽R2、7洪水水位

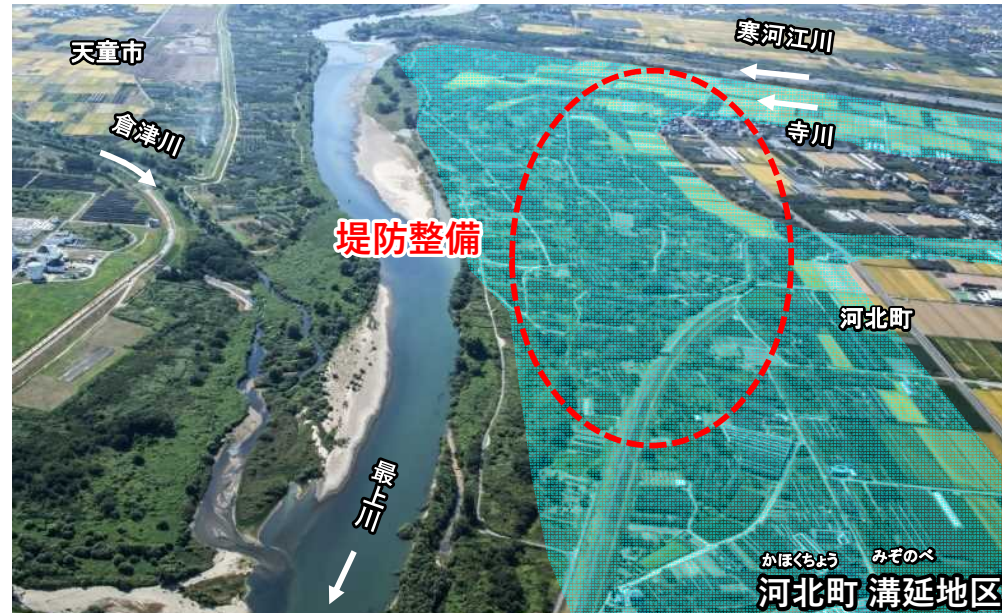
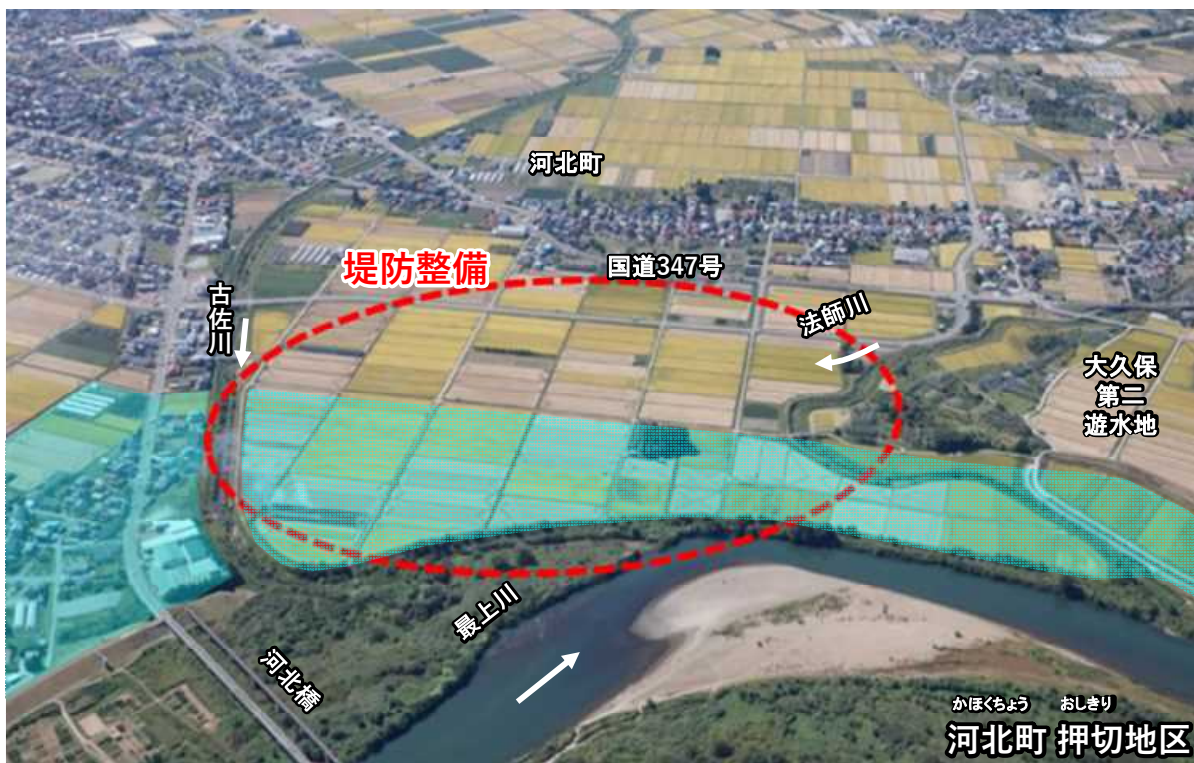
最上川

既設堤防



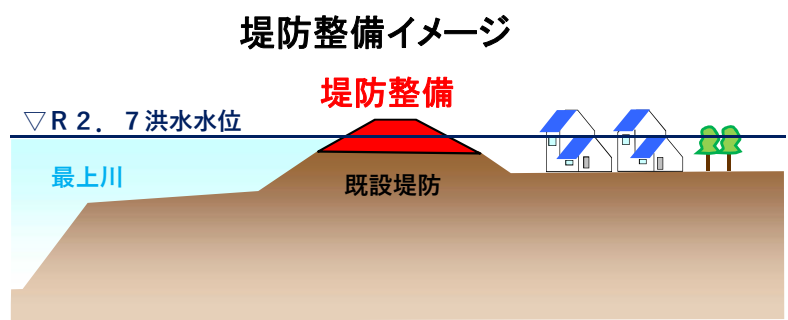
③ 押切築堤 溝延築堤

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施。
 本年度は押切地区において詳細設計を実施し、一部用地補償を実施予定。
 溝延地区においては詳細設計、用地調査を実施予定。



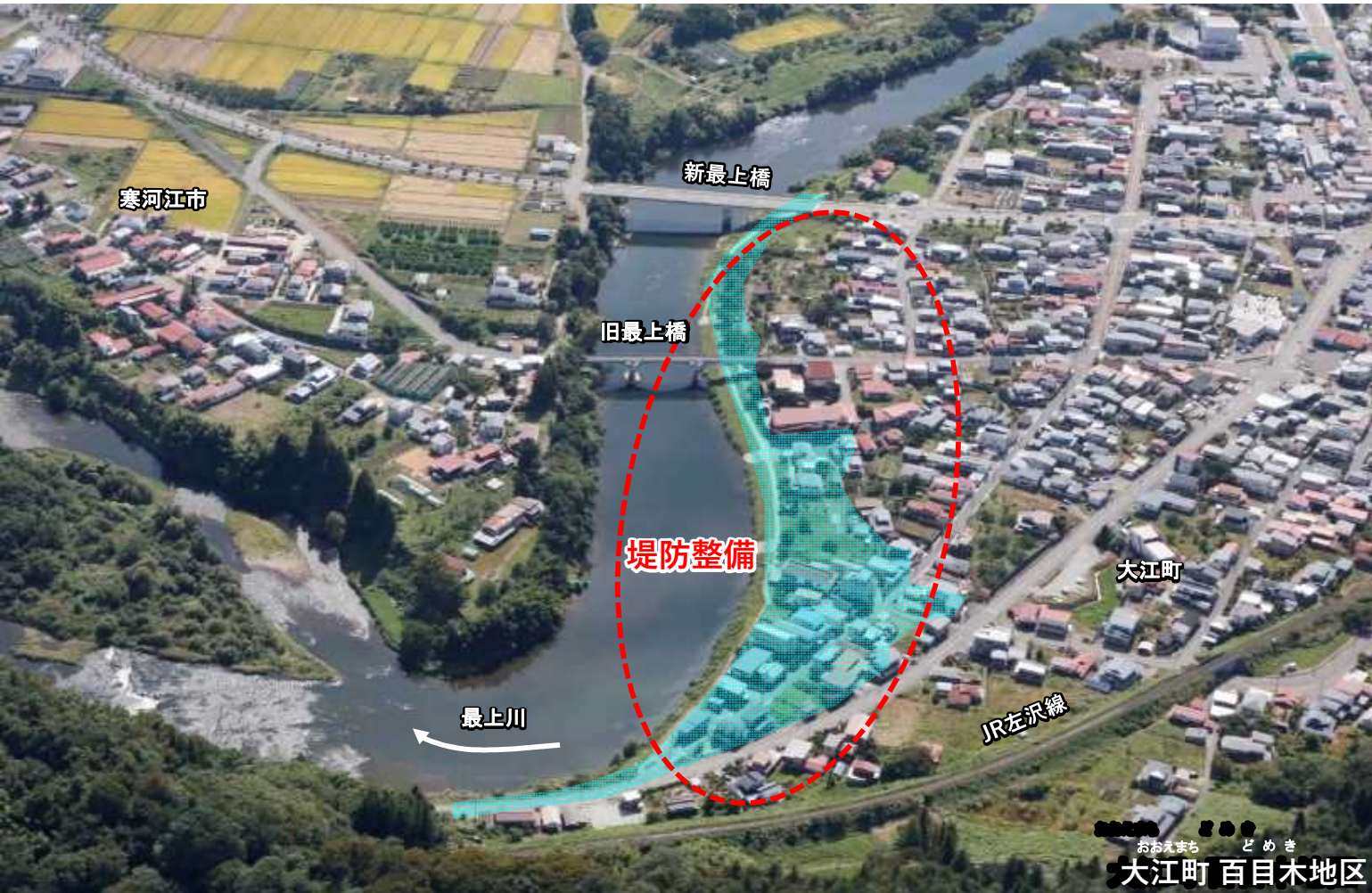
溝延地区地質調査状況

— 整備箇所
 — 令和2年7月 浸水範囲



④ 左沢（百目木）築堤

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施。
早期の工事着手に向け調査設計実施中。



地元説明会開催状況



まるごと・まちごとハザードマップ実施状況

⑤ 大久保遊水地改良

○下流区間の河川水位を低減させるため「遊水地改良」を実施。
早期の工事着手にむけ、調査設計等を実施中。



⑥ 大淀分水路

○洪水流下のネック箇所となる大淀地区に「分水路整備」を実施。
早期の工事着手にむけ、地質調査、環境調査、設計業務等を実施中。

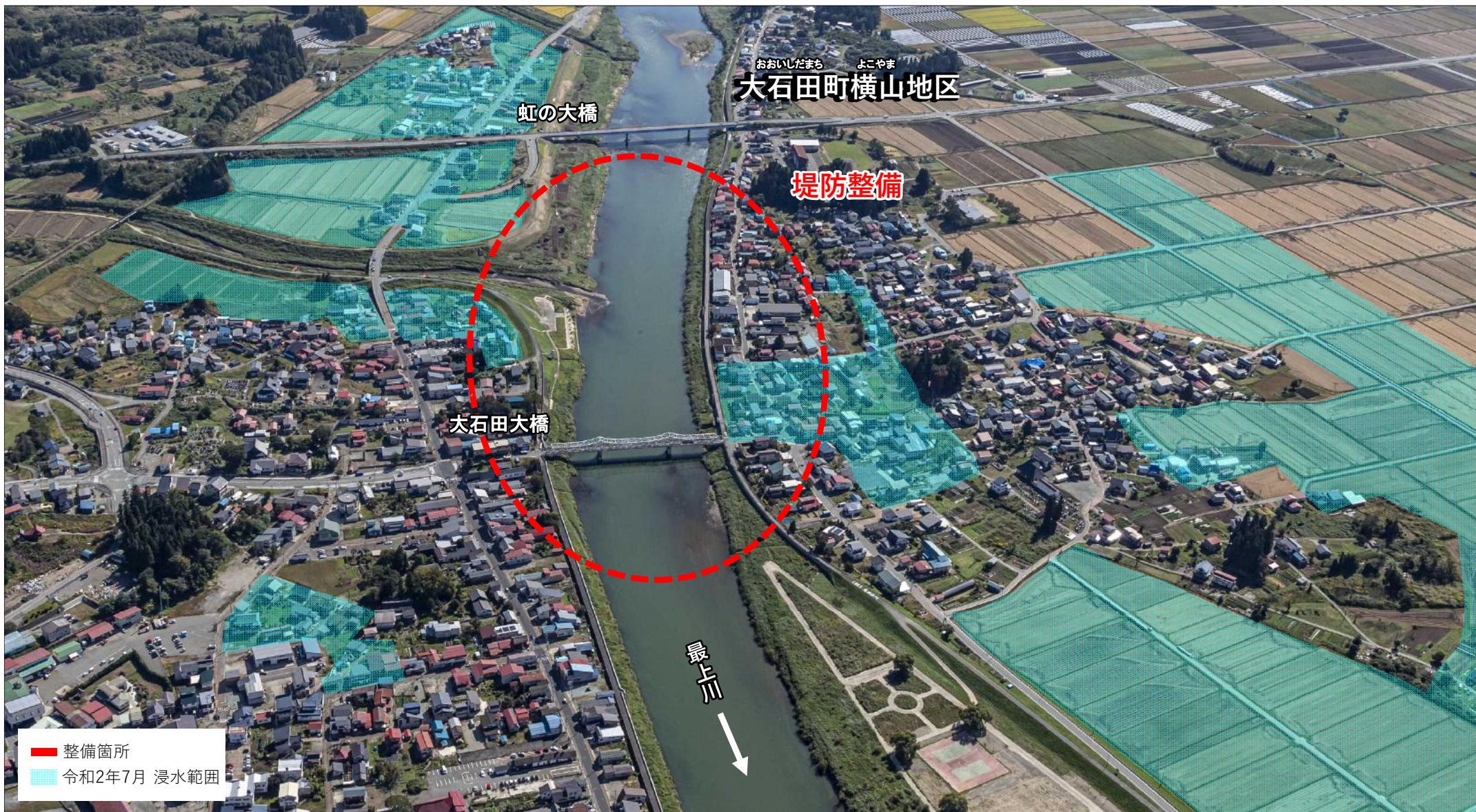


※分水路の法線・断面等は、今後の詳細検討により決定します。

⑦

よこやま おおいしだ
横山・大石田築堤

○河川からの氾濫を防止するため「堤防整備」を実施。
早期の工事着手に向け、測量及び調査設計を実施中。



大旦川堤防・調節池整備、白水川堤防整備 【山形県】

大旦川 (村山市河島 外)

【被災状況(R2. 7月)】
浸水面積406ha
床上浸水28戸、床下浸水11戸

- 最上川水位上昇に伴い大旦川水門が閉鎖し、浸水被害が発生
- 令和4年度末に調節池が一部完成予定



被災状況(R2.7月)



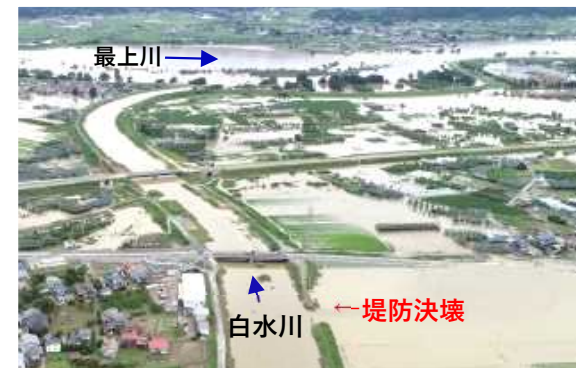
大旦川の水を一時的に貯めることで、令和2年7月規模の豪雨での家屋浸水を解消

施工状況(R3.10月)

白水川 (東根市松沢 外)

【被災状況(R2. 7月)】
浸水面積220ha
床上浸水5戸、床下浸水20戸

- 最上川のバックウォーターで堤防決壊し、浸水被害が発生
- 令和4年度末に堤防復旧・嵩上げが完成予定



被災状況(R2.7月)



施工状況(R3.10月)

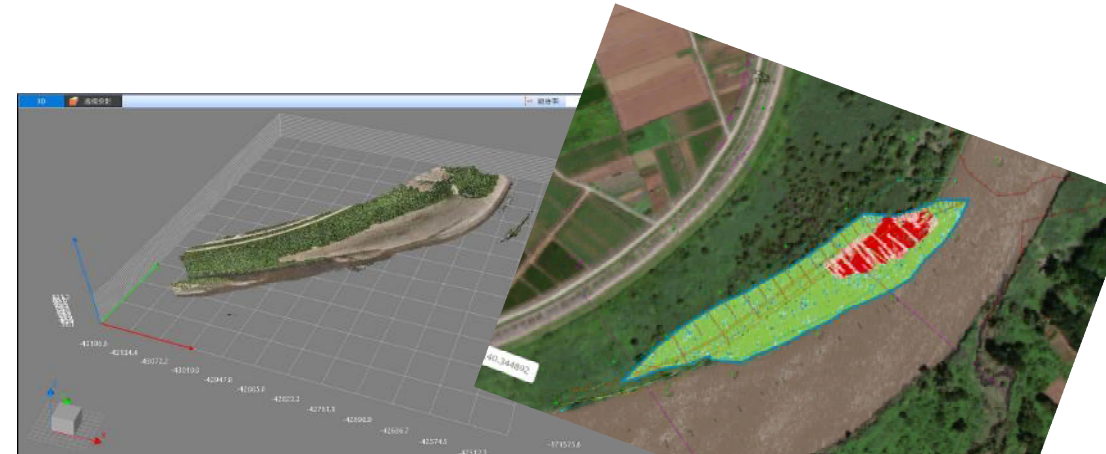
○ICT施工の推進・掘削土砂の活用

- 国土交通省全体でi-constructionの推進に取り組んでおり、本プロジェクトにおいてもICT建設機械による施工やUAVを活用した測量等を実施し、生産性の向上を図っている。
- 掘削した土砂は、白須賀地区や長島地区の堤防整備工事の盛土材として活用。

■ ICT施工の推進

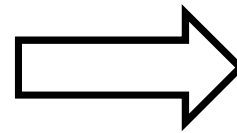


河道掘削工事においてICT建設機械を使用



UAVによる点群測量を実施し、河道掘削形状、掘削土量を算出

■ 掘削土砂の活用



河道掘削工事において掘削した土砂を長島地区の築堤工事の盛土材として活用

○緊急治水対策プロジェクトの予定

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
河道掘削		河道掘削工事								
白須賀地区堤防整備	堤防整備									
横山・大石田地区堤防整備	設計		用地				堤防整備			
大淀分水路整備	設計		設計・用地				分水路整備			
大久保遊水池改良	設計		設計・用地				大久保遊水池改良			
押切地区堤防整備	設計	設計・用地					堤防整備			
長島地区築堤整備	築堤整備									
溝延地区堤防整備	設計		用地				堤防整備			
百目木地区堤防整備	設計		設計・用地				堤防整備			

※現時点の予定であり、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況（ソフト対策）

特設WEBサイト充実化

緊急治水対策プロジェクトの内容や取り組み状況を紹介するとともに、復旧状況を確認できます。

(<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/project/>)



まるごとまちごとハザードマップ 痕跡表示

令和2年7月豪雨での洪水被害の記憶を風化させないため、浸水被害のあった地区に痕跡看板を設置しました。（河北町溝延地区）



小学生向け防災講座

自分達が住む地域の水害の可能性や、洪水への事前の備え、避難の重要性についての防災授業を行いました。

(7月20日 山形市立大郷小学校)



最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況（ソフト対策）

最上川河川学習室

夏休み期間限定で、村山市河島地区にある大旦川水門局舎2階・河川防災センター内に最上川河川学習室を開設しました。来場者へは「大久保遊水地カード」を配布しております。学習室では雨展も開催しております（7月22日～8月31日）

開館時間: 9:00～16:00(土・日・祝日を除く)

配布時間: 9:00～16:00(平日 12:00～13:00・土・日・祝日を除く)

注意: カードの配布は、来場者1人につき1組(2枚)となります。災害対応中は、配布できない場合がありますので予めご了承ください。



巡回パネル展

水害からの備えを忘れないよう、令和2年7月豪雨の振り返りとして巡回パネル展を開催中です。（7月4日～8月19日）



イベント時における水防災啓発活動

日本一の芋煮会などイベント開催時における水防災啓発活動（降雨体験など）を実施します。

